

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	ニーニョス				
事業所番号	4650000286				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市下福元町字松ヶ尾1730番地				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日				
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓2にURLを記載			
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagoshima.jp			
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。				

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	平田 侑也
連絡先 (TEL)	099 - 210 - 1866

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ニーニョス		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人のニーズに応じた支援	新規のお子様は事業所の見学等に來られた際や既存で利用されている方への支援について、アセスメントを行いながら、お子様一人一人のニーズに応じた支援を行っている。(今年度、ABA療育の実施によって職員のスキル向上に繋がっている)	お子様一人一人のニーズに応じて対応できるよう、ニーズとして増えている「ことば」の支援を強化していきたい。また、専門的な支援スキルの向上を図るために、事業所内外の専門職と連携を図る。
2	地域と繋がる様々な生活体験活動の充実	お買い物体験(パン屋さん)・市電乗車体験・消防署見学・セイカアイス工場見学など、様々な公共機関を利用し地域と繋がりを広げながら、友達と一緒にたくさんの経験を積めるよう実施している。	生活体験活動の充実から、お子様方の経験や生活スキルの向上、地域との繋がりを広げていけるよう、体験活動の充実に繋げていきたい。
3	自然あふれる地域を活かした食農体験活動	自然を活かし、お子様方と一緒に芋や野菜(ピーマン・トマト・白菜・キャベツ)の苗植え・収穫体験をし、クッキング活動にて調理を実施し、食育や友達との交友関係に繋がる活動を実施している。	お子様方の「育てたい」「食べたい」という思いに繋げられるよう、「育てたい野菜等」について年間計画を立てながらスケジュールを明確化し、食農体験活動の充実を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「事業所の特色や強み」等の内部・外部への発信	選ばれる事業所になるためにスキルを身につけること、事業所の特色や強みについて外部や内部の方への発信を強化していきたい。(現在の発信の手段としては、ご家族へはインスタグラム、外部の方々へはパンフレット等)	自事業所の特色や取り組みについて、時代に応じた発信や営業(内部・外部)が出来るよう、SNSや営業の方法についても職員間で共有しながら発信を強化していく。
2	家族支援(ペアレント・トレーニングの強化)	今年度、外部の方よりペアレントトレーニングの実施に至った。事業所として1名の希望であったため、ご家族への周知が不十分であった。 (ペアレントトレーニングの意義や重要性について周知が不十分)	家族支援の一環として、ペアレントトレーニングを次年度も継続して取り組みながら、ご家族の参加を促していき、職員もトレーニング内容について勉強し実践する。
3	個別支援や専門職との連携の強化	ABA療育の導入や月に1回専門職(ST)による「ことばの教室」を実施している。支援のスキル向上を図るために、専門的な支援の強化を図っていきたい。	ABA(応用行動分析学)療育、個別支援のスキル向上、専門職との連携の強化のために、研修や勉強会の機会を設定し、職員のスキル向上を図っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニョス

公表日 令和8年 2月 27日

利用児童数 25名

回収数 20

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1			部屋によると思う。	→通園人数は日々異なる為、お子様の人数や活動内容によって工夫して使用しております。活動スペースは基準に沿って確保されております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		3		職員配置は、定められた基準に基づいて配置しております。必要に応じて、応援体制など職員配置の工夫に努めて参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		1		バリアフリー対応の環境設定となっており、今後もお子様の視点に合わせた環境作りを努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	3	1	1	トイレの臭いが気になる。 ヤス子がたくさん出てくるのが気になる。 部屋にあるマットレスが経年劣化で不衛生に見える。てしまう。	→日常のトイレの清掃等を心がけておりますが、お子様や保護者様が安心して利用していただけるよう環境設定に再度努めて参ります。虫対策においては、専門業者にも対応していただいておりますので、常時対応できるよう対応させていただきます。マットレスは、経年劣化しておりましたので、新しいものに対応しております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			受けられている面もあるし、受けられていない専門的な面もある。	→お子様の発達について把握、理解した上で支援を行って参ります。お子様の特性に応じた対応ができるよう、必要に応じて関係機関と連携を図りながら、保護者様と情報共有し専門的な対応が出来るよう、スキルアップを目指し対応して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1		事業所支援プログラムをベースに個々に応じた対応を保護者様と検討し、状況やニーズに沿った支援となるように努めて参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					保護者様からのアセスメントを元に作成させていただいております。お子様の発達の状況に変化等があられた際には、見直しさせていただきますのでお知らせください。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		ガイドラインに提示のある項目について、目標を立てさせていただいております。追加項目やご意向の変更等ありましたら、職員までお申し出ください。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				お子様一人一人の目標に向けて、個々の発達段階に合わせた方法を見つける事が出来るよう職員一同取り組んで参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20					活動プログラムは毎月見直しを行っており、固定化されないような工夫、季節感を取り入れる工夫をして参ります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	1	6		幼稚園・保育園との連絡会に関しては年に2回実施しております。交流に関しては、今後どのように実施できるか、検討して参ります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					契約時に説明させていただいております。何かご不明な点・ご質問等がありましたらお知らせください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					通園時、また年に2回の児童発達支援計画書に基づく面談を行う際には、保護者様に提示させて頂きながら説明を行っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1		1		家族会やABA説明会など、ご家族に参加して頂ける研修の機会を設けております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20					日常の申し送り、連絡帳にて、日々の共有に取り組んでおります。今後もさらに、保護者様との課題共有ができるよう努めて参ります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19			1	年に2回児童発達支援計画に基づく面談を実施しております。状況に応じていつでもご相談等お待ちしておりますので、職員まで申し出ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				事業所職員間で、お子様の成長や保護者様からのご意見等を共有しながら、お子様方の支援に努めております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	1		1	今年度は家族会の開催を2回実施致しました。また親子療育時にご家族同士で話をできる時間を設けております。兄弟児の交流についてはイベント時にご参加頂いております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20				ご相談につきましては、定期的な面談を実施させて頂いております。ご希望等ございましたら、いつでも職員にお申し出ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				日課の申し送りの中で、できる限り直接ご家族とお話させていただき、状況に応じて連絡帳等活用しながら、お伝えできるように努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20				活動の様子を丁寧に伝えて頂いている。園外活動の予定（どこに行くか）を当日まで知らせていなかったり、翌月の予定がギリギリなので早めに教えていただきたい。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				個人情報取扱いに関しては、鍵付きの箱に保管し、全職員十分に注意しております。個人情報管理に関しては、今後も徹底し行っております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			1	毎年、マニュアル見直し、必要に応じて改善を行っております。各療育室等に提示を行っておりますので、ご確認ください。また、毎月1回の訓練については、活動予定表に記載しておりますのでご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1	毎月1回、避難訓練を行っております。火災や地震、風水害など、あらゆる状況を想定して職員も訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20				お子様や保護者様の安全を確保するために、安全計画を作成し支援に取り組みしております。今後も安全確保に努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況について説明がされていると思いますか。	17	1		2	事故等が発生した際には、法人内のマニュアルのもと、保護者様へ事故等の説明をお電話にて速やかに対応できるよう、努めて参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	2		2	今後も、お子様が安心して過ごし、保護者様が安心してお子様を送り出せるよう、職員一同支援に努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1		1	いつもニコニコでバソに行ってます。→お子様お一人お一人が笑顔で過ごせるような場になるよう、今後も職員一同協力しながら支援に努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19			1	今後も、ご家族の皆様と一緒にお子様と向き合いながら、一人一人のお子様にあった丁寧な支援に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		二一ニョス		公表日 令和8年 2月 27日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		状況によっては、狭く感じることもある為、クラス編成や活動部屋を分けるなど工夫している。	基準を満たしたスペースとなっておりますが、お子様の人数や状況によって、環境面の配慮設定も注意しながら、十分なスペースを確保して参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			基準を満たした職員配置数となっておりますが、お子様の状況によって職員数を調整しております。職員のスキルも上げながら的確な支援に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動内容に応じて部屋を変えて環境作りを努めています。また、お子様方の專線やトイレ等には、イラストなどで視覚的にも支援が出来るよう対応しております。	お子様方が安心して過ごせる環境設定が出来るよう、職員間で随時設備等の点検や確認を行いながら対応して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、職員が清掃や消毒等を行っております。玄関マット等に関しては、外部の業者が交換やクリーニングを行っております。	お子様方の活動等に合わせた空間作りを努められるよう、職員間で情報共有しながら対応して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の状況に応じて、空いているスペースや部屋を活用しながら、お子様が落ち着いて過ごせる環境を作っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月1回職員会議時に業務改善事項があれば協議し、その他随時改善事項があれば終礼等で発信し改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回、保護者様向け評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し、業務改善に活かしております。	ご意見いただいた内容について、今後も職員間で協議を行い、業務改善に努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議以外でも、職員間で意見等あった際には、協議する場を設定し意見を反映するように心がけております。	職員から意見等あった際には、迅速に対応できるように対応して参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今年度は行っておりませんが、今後は検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の療育研究会、外部研修も随時受講しております。	内部研修・外部研修を受講する機会が増え、職員のスキルアップに繋がるよう案内等に努めて参ります。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを、ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後計画案を作り、保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント(検討会議)を実施した上で、児童発達支援計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有している。また、計画の変更があった際も随時共有を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容の立案は職員間で協議し共有しながら、お子様方の成長に繋がるプログラムになるよう工夫しております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないよう、内容を工夫しております。	毎年新たな取り組みをしたりする中で、毎月の活動がマンネリ化しないよう、職員間で協議しながらプログラムを策定して参ります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		常に職員間で協議しながら、お子様の状況にあった支援を提供しております。時に集団活動の中でも個別対応が必要である場面もある為、臨機応変に対応し、児童発達支援計画にも反映するよう努めて参ります。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				前日の終礼時などで情報共有を行っているが、役割分担等が明確になっていないので、職員間で共有し明確化して参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			気付きについてはノートを活用し、職員間で共通理解できるように努めております。	支援終了後クラスごと職員間で支援の振り返りをし、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容等を共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援内容、気になることは連絡帳に記載することで、振り返りにも活用されております。	毎日業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をもれなく記録し支援の改善に繋げております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				更新時期でなくても、お子様の目標達成状況に応じて見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している保育士・児童支援員が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			南部保健センターの方に連絡会に出席していただいたり、併用先の幼稚園・保育園や就学先の学校などの関係機関とも情報共有を行っております。	
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			併用利用児は、必要に応じて年2回情報交換会を行っており、就学児に関しては就学先との連携を図っている。来館による療育参観やズーム、併用先へ訪問等で実施しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			必要に応じて、就学先との情報共有と図ることができるよう努めております。	今後は、こちら主催で就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めて参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			年3回、児童発達支援事業所との、事業所連絡会を開催しております。	南部地区連絡会を開催しており、他事業所と連携を図れるようになってきておりますので、今後も関係作りにも努めて参ります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			専門職との連携を図り助言を受けることで支援に活かせるようにしております。また外部研修にも参加しております。	発達支援セラピスト、保健師、嘱託医から療育に関するアドバイスをもらい支援に活かしているため、今後も外部研修など積極的にして参ります。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会のこども部会には法人代表で1名出席しており、内容は共有しております。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				交流の機会を設定できるよう、今後検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お子様の状況や課題について情報共有を行っております。	面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今年度、ペアレントプログラムを実施しております。	今後も、引き続きご家族の方々に参加できる研修等実施して参ります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明を行っております。利用者負担が必要な場合は事前に説明を行っております。	契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		年2回、児童発達支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの相談に関しては、迅速な対応を心掛けております。	引き続きご家族からのご相談には迅速に、かつ適切に応じられるよう努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族会の実施、親子療育時にご家族との茶話会の時間を設けております。	交流の場として、定期的に親子療育を実施しております。また、年2回家族会を開催しております。今後も保護者様同士の交流が図れる機会（療育参観・茶話会等）を設定して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう対応して参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ等に活動風景を発信しております。また法人の広報誌にも掲載されております。ご家族へは、インスタグラムの発信も行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いには十分留意しております。	個人情報は、貸付きの場所で施錠して保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			お子様には絵カードで視覚的支援を、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人としてサマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にご来館頂いております。	法人全体で毎年サマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にも来ていただいております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しております。	マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく方法を検討して参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しております。また非常災害に対する備えや訓練を実施しております。	BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前のアセスメントを行い確認させて頂いております。	発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用前のアセスメントを行い確認させて頂いております。新規面接時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき栄養士とも共有し個別対応を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員間で共有できるよう研修や訓練を行っております。	ご家族や職員への周知や勉強会を深めながら、安全計画の見直しや作成をし、随時職員会議にて研修や訓練を行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			BCP等は、ご家族へ向けて事業所内に掲示しておりますが、取組内容の周知方法を今後検討して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開催しております。法人全体研修時にも実施されております。	引き続き、毎月1回虐待防止委員会を開催しながら、法人内の全体研修時にも虐待防止について研修を行って参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在、身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童発達支援計画に記載して参ります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ニーニョス		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼稚園・保育園との連携(幼保連絡会や送迎時など)を図っている為、保育所等訪問の受け入れに関して協力的である。	年に2回の情報交換を行いながら、併用先の保育園や幼稚園との情報交換で密な連携を図る事が出来るように努めている。	保育所等訪問支援を継続して行う中で、明確なビジョンや支援の共通理解がさらに深まるよう、実施計画を立てた上でスケジュール調整を行う。
2	お子様の困り感に対し支援内容の共有を図りながら、対応方法を双方の意見を共有しながら、それぞれの場所を活かした支援を行う事が出来る。	お子様の困り感に関して、必要に応じて専門講師(PT、OT、ST)に助言をいただきながら、お子様の支援に必要な情報等を準備し、様々な視点からの助言を行えるようにしている。	今後は、こちらで使用している教材等を準備して持参する事で、双方で活かせる支援に繋げていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的(月1～2回)な訪問の調整を行う中で、スケジュール調整が困難な事もある。	園行事の把握や日程調整の課題(双方の意見) 訪問の時間設定や情報交換までを想定した時間の確保	お子様の為の、定期的な訪問と保育所等訪問の充実が図れるよう、訪問時に次回の日程調整や協議内容について予め決める事が出来るように取り組んでいく。
2	言語聴覚士等の訪問を計画する場合、法人内に専門職はいるが事業所専属ではない為、一緒に訪問するにあたり、日程調整が必要となる。	保育所等訪問支援を利用するご意向を把握し、必要な専門職との連携を密にとっておく。	実施の2か月前には、園・事業所・専門職のスケジュール調整を行い、双方にとってスムーズな訪問へと繋げられるようにする。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニョス（保育所等訪問支援事業）

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 3名

回収数 3

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	2			1		訪問の支援材料に関しましては、お子様の様子に合わせて、必要に応じて教材等の準備を行っております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					面談は個室にて行い、プライバシーに配慮しながら、情報交換を行っております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					保護者様の意見を踏まえ、目的・実施内容について、情報共有を行いながら実施しております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					実施日・実施時間を含め、保護者様や幼稚園・保育園と情報共有を行ったうえで実施しております。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					職員体制を整えて、お子様に合わせた支援提供を行う事が出来るように努めております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					より専門的に支援を行う事が出来るように、職員の専門性・スキルアップに努めております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					モニタリング・アセスメントを行い、保護者様の情報を元に、個別支援計画の作成に努めております。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					訪問時の情報交換を元に、併用先の移行や保育園等での様子を共有し、個別支援計画の作成に反映する事が出来るように努めて参ります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					保育所等訪問支援ガイドラインを元に、支援内容の設定を行っております。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					訪問支援計画に沿った内容で実施を行い、必要に応じて見直しを行っております。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					訪問先と定期的に連携を回り、園行事・他のお子様への配慮を行いながら対応しております。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					契約時に、説明をさせて頂いております。何かご質問等ありましたら、お問い合わせください。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					支援計画や報告書にて、実施内容・併用先との情報交換の内容を説明しております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3					年に2回家族会を実施しております。今年度は、ペアレントトレーニングを実施しております。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					定期的に訪問支援が実施できていることで、発達の状況や課題について、共通理解が図れているため、引き続き計画的に進められるよう対応して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					年に2回面談の実施しております。何かご相談等ございましたら、いつでもお申し出ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					お子様の状況について、共通理解ができるよう努めて参ります。
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					定期的な面談を設定しておりますが、必要に応じて面談の機会を設けさせていただきますので、いつでもお声掛けください。	
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					お子様、ご家族の思いを汲み取りながら、必要な情報を確実に伝達ができるよう努めて参ります。	

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3					訪問先からの相談等へ迅速に対応して参ります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3					訪問後は、担当の方と話し合いの場を設けさせていただき、その状況に応じた内容で情報交換を行っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3					ご家族への共有に関しては、タイムリーかつ丁寧に説明が行えるようにして参ります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					保育所等訪問に関する発信方法を、今後増やせるよう検討して参ります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					今後も個人情報取り扱いに関しては、十分留意して参ります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3					訪問先との連携を図り、緊急時の対応ができるよう情報共有を図りながら、対応して参ります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					安全計画に基づき、お子様方の安全が確保できるよう、支援を行って参ります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					お子様にとって負担とならないよう配慮した訪問支援を行っております。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3					ご家族やご本人が安心して保育所等訪問支援をご利用頂けるよう、訪問先（幼稚園・保育園）と連携を図りながら支援に努めて参ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月27日				
二一ニョス (保育所等訪問支援事業)						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		訪問支援の教材に関しましては、お子様の状況に応じて、教材の準備を行っております。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準配置を満たしております。お子様の状況、課題等に応じて職員体制等調整を行っております。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		改善点については、その都度状況に応じて改善を行いながら、全職員に周知できるように対応しております。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様評価を実施し、必要に応じて今後の改善に繋がるよう取り組んでおります。	全職員が、保育所等訪問支援への知識やスキル向上に繋がるよう、対応して参ります。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所間での共有をする中で、今後の業務改善へと活かす事が出来るよう取り組んでおります。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価については、今後のどのような形で実施するか検討して参ります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の療育研究会、外部研修も随時受講しております。	内部研修・外部研修を受講する機会が増え、職員のスキルアップに繋がるよう案内等に努めて参ります。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後計画案を作り、保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、職員間で共有し、子どもの最善の利益を考慮した検討会議を行っております。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント(検討会議)を実施した上で、児童発達支援計画を作成しております。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援内容を提供する事ができるようにしております。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ガイドラインに基づいた内容で、アセスメントを行っております。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインで示す支援内容から、具体的な支援内容の設定を行っております。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援内容を提供する事ができるように取り組んでおります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日の支援終了時を活用し、様々なツールで職員間の情報のもれがないように努めております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		前日の支援終了時を活用し、様々なツールで職員間の情報の洩れがないように、またタイムリーな情報共有に努めております。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先と密な連携を図り、園行事・他のお子様の支障とならないに取り組んでおります。	

関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		報告書を作成し、訪問先・時間・活動内容・所感を記録し、次の活動へと繋げる事が出来るように取り組んでおります。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回のモニタリングの実施を行い、必要に応じて目標・支援内容の見直しができるように取り組んでおります。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を含め、担当職員が参加する事が出来るようにしております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		南部地区連絡を開催し、関係機関との密な情報共有が出来る場を設定しております。	開催時期・日程の計画を早めにて、たくさん関係機関・事業所の参加が出来るような計画を立てて参ります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、就学先への訪問・状況の共有を行い、支援内容の相互理解ができるように努めています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		専門講師・専門機関との密な連携を図り、内容を職員間で共有し、日々の支援へ活かす事が出来るように取り組んでおります。外部研修への参加も行っております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		子ども部会には、法人の代表が参加しており、必要内容の共有を図っております。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談時・お電話などを活用し、お子様の状況や課題内容について共通理解が出来るように取り組んでおります。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加出来る研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度、ペアレントプログラムを実施しております。	今後も、引き続きご家族の方々が参加出来る研修等実施して参ります。
	保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、必要項目についての確認・同意をいただいております。
28		訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問時に、支援の趣旨やお子様や保護者様の意思の尊重・意向を確認し、お伝えできるように対応しております。	
29		保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや聞き取りを通して、お子様や保護者様の意思・意向を確認し、計画を作成する事ができるように努めております。	
30		「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援会議を行い、保護者等への説明・同意を頂く事が出来るように努めております。	
31		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談の実施以外にも、子育てに対する相談等がないか確認を行い、必要に応じて面談と助言を行う事が出来るよう対応しております。	
32		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			年に2回、家族会の開催を行っております。今後も、保護者同士が交流出来る場・懇親会等の企画を検討して参ります。
33		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際には、職員間で共有し、準則に対応する事が出来るように取り組んでおります。また、必要に応じて、専門講師・機関へと繋げられるようにしております。	
34		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページでブログの活用、行事予定表の配布を行っております。	今後、SNSを活用した、情報提供の検討を行って参ります。
35		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報には鍵付きに保管し、取り扱いには十分な配慮を行っております。写真の掲示等、保護者様のご意向の確認を取らせていただいております。	
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的支援等のアプローチを用いて、お子様が理解しやすいよう支援しております。	イベント・活動内容等、保護者様に分かりやすい掲示方法の見直しを図って参ります。
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先での困り感などを共有し、必要に応じて助言・対応策と一緒に検討しながら支援へと繋ぐ事が出来るよう取り組んでおります。		

訪問先施設への説明等

38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問時には、必ずカンファレンスを行い、課題・今後の取り組みなど情報共有を行っております。	
39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		実施後に報告書を作成し、画での様子・担当の方・保護者様との情報共有をタイムリーに共有が出来るよう努めております。	
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きの場所にて保管し、取り扱いには十分な注意し対応を行っております。	
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		お子様の目標・課題を共有し必要に応じて助言や、今後の対策を双方で一緒に検討する事が出来るように努めております。	

非常時等の対応

42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しております。	マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく方法を検討して参ります。
43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員会議にて研修・訓練の実施を行い、共通理解に努めております。	
44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの職員間の共有・他事業所との内容の共有に取り組んでおります。	
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月、虐待防止・身体拘束委員会の会議を実施し、現状について共有し対策を行っております。	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在、対象のお子様がいらっしゃいません。必要な場合は、個人計画を作成、保護者様への説明・同意を得たうえで実施が出来るように対応して参ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年2月27日

ニ－ニョス（保育所等訪問支援事業）

利用児童数

令和8年2月13日 3名 回収数 3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3				訪問時に、前回の内容等についても確認を行いながら、丁寧にお話出来るよう努めております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				お子様の双方での様子に応じて、必要事項を共有していただけるよう、対応しております。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				面談時の丁寧な回答に努めております。また、いつでもお問い合わせ頂ければと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3				お子様の困りごとに合わせた支援が出来るよう、双方で困りごと等共有しながら、対応できるよう努めて参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3				今後とも定期的に訪問させて頂き、お子様にとってよりよい支援を目指して参ります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>月1～2回訪問していただきながら、実際の様子を見ていただく中でお子様の実態や様子に応じた情報交換や助言をいただけるので、園の方でも実践ができて感謝しております。職員間でも、お子様の対応を継続して行う中で、保育をしながら成長を感じられるので大変有難いです。現在、保育所等訪問がスタートしたばかりですが、園に来ていただくだけでなくパソさんでの様子も見せていただけているので、勉強になります。</p>					<p>訪問の際には、曜日や園行事等に応じて日程の調整など臨機応変に対応して下さりありがとうございます。また、お集まりや活動の場面を見させていただく中で、園の様子を詳しく説明して下さり丁寧なご対応ありがとうございます。お子様の双方の様子を共有する事で、保護者様は大変喜ばれておりました。今後も、保育所等訪問支援を実施するにあたり、事前のスケジュール管理や必要に応じて専門職との連携を図りながら訪問させていただき、支援内容に関して丁寧に説明を行って参ります。</p>	